

Autumn 2026

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

秋号

2026
Autumn





村

調査速報！

山浅間神社遺跡を調査！



前号の、城山遺跡発掘調査に引き続き、今回は村山浅間神社の発掘調査速報をお届けします。村山浅間神社は、今や言わずと知れた世界遺産富士山の構成資産。今回の発掘の目的や、調査によってどんなことが分かったかなど、新たな情報をお知らせします。

1 村山浅間神社遺跡はこんな遺跡！

村山浅間神社遺跡は、富士山西南麓の標高約 500m の平坦な地点に位置していて、村山浅間神社やその周辺の集落が範囲になっています。現在の村山浅間神社には、社殿、大日如来などの仏像を安置する大日堂等の建物や、祈禱を行ったと考えられる護摩壇、水を浴びて身を清めた水垢離場等が存在しています。古文書によると、平安時代末頃に富士山信仰の基礎を築いた末代上人が村山に興法寺を開いたとあり、これが神社の起源と考えられています。



水垢離場



境内

2 最新の発掘調査の目的は？

調査は世界遺産の整備の一環として行われています。史跡のため、重機ではなく人の手で慎重に掘り進めています。今回は水垢離場までの水路跡を確認するのが目的です。過去の調査で部分的に見つかった水路跡をヒントに、水垢離場へ至る屈曲した部分を探していますが、現時点で未発見です。今後調査区を拡大して、引き続き発掘を行なっていく予定です。



トレンチの深さは約 80cm



大日堂の奥に発掘現場がある

3 土の中から出てきた遺物はコレ！

発掘調査では、遺跡からさまざまな遺物が出土します。今回の村山浅間神社では、特徴的な遺物として江戸時代の「写経石」が複数個見つかりました。写経石とは、小石や川原石の表面に、墨などでお経の文字を書き写したものです。一つの石に一文字書くことで「一字一石経」とも呼ばれます。他にも、近代以降の陶器片なども出土しています。



以前の発掘調査で確認された遺物



今回の調査で見つかった写経石。(上から時計回りに「阿」「為」「百」と墨書きされている)

誰かに話したくなる！

考古学トリビアの壺

この杉、大きすぎる！

村山浅間神社の境内には多くの杉の木があります。中でも最大のもは、1956 年に県の天然記念物に指定されています。推定樹齢は 1000 年。樹高 47m、目通り幹囲 9.9m という、見上げると首が痛くなるような巨木です。村山浅間神社を訪れた際は、この杉を見るのもお忘れなく。



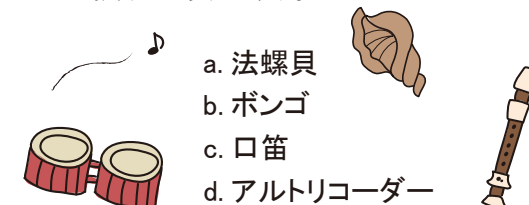
力強い姿！



2026 秋号の埋文クイズ！

一体ど〜れ？

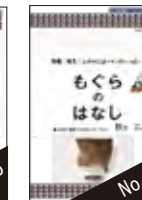
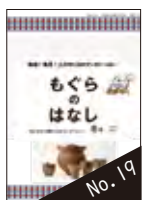
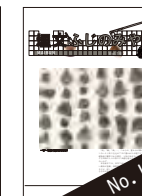
村山浅間神社では、毎年7月10日に富士登山の幕開けを告げるとともに、登山者の安全を祈禱する祭り「お山開き」が行なわれます。その神事の際、修験者（山伏）が鳴らすのは一体何でしょう？ 下記の選択肢から選んでみてください！中学生以下の正解者には、埋文グッズを差上げます（数に限りがあります）。



- a. 法螺貝
- b. ボンゴ
- c. 口笛
- d. アルトリコーダー

バック ナンバー

既刊号は
富士宮市の HP で
公開中



to be
continued...

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

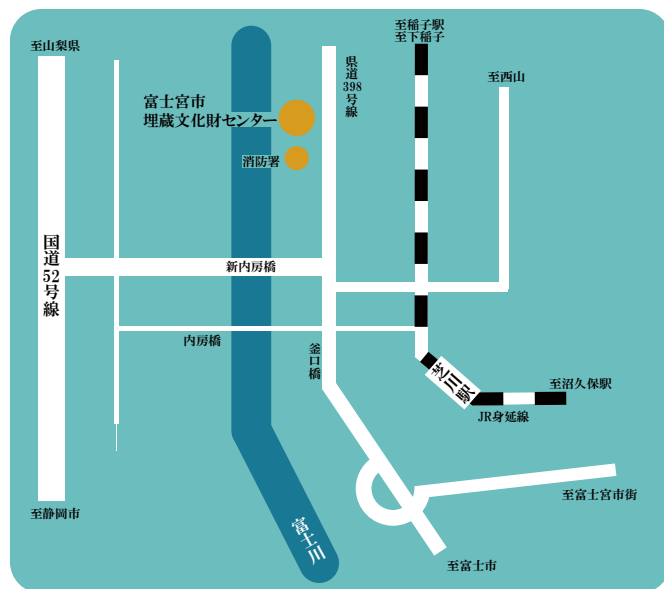
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は 8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細は HP でご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらの はなし 秋号（通算 vol.34）

令和 8 年 10 月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター